

近代西洋医学教育の父

〜ポンペ・ファン・メルデルフォールト〜

黒い巨大なアメリカの蒸気軍艦が1853年に浦賀に來航した。日本は黒船の大砲の轟きにより泰平の眠りから覚め、海軍設立に向けて動き出した。250年に及ぶ友好国オランダは海軍派遣隊を送り、1855年より長崎で海軍伝習が始まった。第二次海軍派遣隊長のカッテンディーケは日本の軍医派遣の要請に応えて信頼する誠実な人柄の海軍二等軍医ポンペを選んだ。

ポンペの医学教育

ポンペ①は1857年Japan 員後に咸臨丸と改名)に乗って長崎に赴任した。彼は日本に最初の西洋式医学学校を開設することを使命と考えていた。幕府が派遣した將軍御目見医師松本良順②に、長い年月がかかろうとも医学の全課程を規則正しい方法で教える決意を語った。良順はその熱意に応じてポンペに全面的に協力した。ポンペは1857年11月12日西役所で良順とその弟子達12名に講義を開始した。この日が長崎大学医学部創立の日であり、近代西洋医学教育発祥の日でもある。

ポンペは医学全般をたった一人で教えるという大変な職務を全身全霊をそそぎ込んで5年の歳月をかけてやり遂げた。科学の基礎知識の無い学生にわかりやすくして言葉の壁を乗り越えて根気よく基礎から教えねばならなかった。蘭学の深い素養をもった松本良順と司馬凌海が通訳し、もう一度復講して学生の理解をはかった。ポンペは医学の全科目についてオランダ語講義ノートを用意した。弟子達はこのノートを写して和訳した。日本全国にポンペの教え子により流布した多くのポンペ講義録がある。自分の学んだユトレヒト陸軍軍医学校のカリキュラムと同様に全科を教えたのであるから、その無類の誠実さに驚嘆する。解剖学は最初キムンストーリーキ③(という精巧な人体解剖紙製模型を用いて教えられたが、ポンペは死刑囚の人体解剖実習を長崎奉行に願ひ出、多くの困難を乗り越え実現

大学院医歯薬学総合研究科

相川 忠臣 教授

Aikawa Tadamu



①ポンペ・ファン・メルデルフォールト
近代西洋医学教育の父、長崎大学医学部の創立者
(長崎県立図書館蔵、長崎赴任前の写真を石版印刷)



②松本良順
ライデン大学ボードインコレクション

させた。1859年9月9日、ポンペは市民の反感の中、約150名の警備に守られて身の危険を冒みず日本初の学生人体解剖実習を自ら執刀し行った。参加した46名の学生の中にはシーボルトの娘楠本イネもいた。

養生所・医学所の設立

牛痘を広めたモーツケの後、牛痘の痘苗は途絶え天然痘が再び流行した。ポンペは公開種痘を開始し、各地に痘苗を送った。彼の努力により種痘は再び全国に流布した。コレラがアメリカ軍艦ミシシッピ号入港後長崎に蔓延したのは1858年である。彼の治療は従来の治療に比べ生存率が著しく改善したので、



④養生所・医学所(後に精得館)と分析窮理所

ポンペが創立した日本最初の近代的西洋式病院を付設した医学学校養生所・医学所。

分析窮理所(左) ボードインによって設立)医学所(中央)と養生所(右)(ライデン大学ボードインコレクション)

ポンペは貧乏人は無料で診察し、侍町人、日本人西洋人の区別はいつさいしなかった。封建社会に育った門人達に医師としてはなんら階級の

医師は自分自身の
ものでなく、病める
人のものである

ポンペの医戒

次の流行時には患者の大部分が彼の治療を受けている。彼は流行時病気で倒れてしまうほど獅子奮迅の活躍をした。多くの患者を毎日治療し、伝染病の流行阻止に努力したことにより長崎の町の人々は彼に信頼と尊敬を寄せるようになった。ポンペの悲願とした西洋式病院の建設は彼の誠実さが浸みわたって初めて実現に向けて動き出したのである。念願の養生所④が長崎港を見おろす小島郷の丘に完成したのは1861年9月20日である。2階建て2棟の屋根にはオランダと日本の国旗がはためいていた。養生所は医学学校(医学所)に付置された日本で最初の近代西洋医学教育病院である。養生所は旧来の様式ではなく、全ての病床がベッドであり、ヨーロッパ人にも解放されパシオもあつた。ポンペは土農工商の封建社会に育った弟子達に、この養生所で四民平等の患者中心の医療を実践して大きな衝撃を与えた。

差別などないこと、貧富・上下の差別はなく、ただ病人があるだけだということ。養生所で身をもって実践し教えていた。弟子達は診療では容赦なく厳しく、患者を差別しようとする奉行所の役人と敢然と戦つても、仕事を離れば親しい友として分け隔てなく付合うポンペを心から敬愛するようになった。患者中心の医療がポンペとの人間的交流のなかで弟子達に根付き始め、ものの見方を変え、彼らは完全に生まれ変わっていた。長崎大学医学部の校是にしているポンペの医戒がある。医師は自らの天職をよく承知していなければならぬ。ひとたびこの職務を選んだ以上、もはや医師は自分自身のものでなく、病める人のものである。もしそれを好まぬなら、他の職業を選ぶがよい。この厳しい教えは医療人を志す学



③被爆したポンペのキュンストリーキ(人体解剖紙製模型)

ポンペが解剖学の講義に使用していたキュンストリーキは原爆落下の際奇跡的に焼失を免れた。

生の心を引き締めずにはおかない。

ポンペは後任ボードインの着任を待って1862年11月1日に帰国する前61名の卒業生に修了証書を授与した。内23名の第3級修了証書には、授業つけたるも成果十分ならずみずからの力で医療を行うにはなお十分ではないという厳しい評価が書かれていた。

ポンペの教え子には江戸の医学所頭取となつた松本良順を始め、東京大学医学部の前身大学東校を主宰した佐藤尚中、ドイツ医学を導入した岩佐純、大坂医学学校を開設した緒方惟準、衛生医療行政を創始した長与専斎がいる。近代西洋医学教育を創始し、彼の教え子達によって西洋医学が定着したので、近代西洋医学教育の父と称されている。